



学校だより

～学校評価特集号～

令和3年度 第4号
令和4年3月10日発行
香川県立聾学校

今回の学校だよりは、今年度の学校評価アンケートの集計結果について報告します。
アンケートへのご協力ありがとうございました。

各部の評価

	目標(課題)	取組と結果	次年度の課題・改善策
幼稚部	個々に応じたコミュニケーション支援	<ul style="list-style-type: none"> ○個々の課題を共通確認し、それぞれに応じた手段を用いて関わりを続けた。 ○それぞれにおしゃべりが増え、手話や音声で表現する力や日本語の読み書きの力など、個々の目標としたコミュニケーションの力が伸びた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚情報、特に掲示物等について工夫をする。(楽しい活動の振り返りができる掲示や操作ができる掲示等によって、自然に表現が多くなり豊かになっていくことが分かった。さらに、幼児を取り巻く環境について検討工夫をする)
	視覚情報・掲示物の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの興味関心を高め、やりとりの場となる掲示物等の工夫をした。デジタル絵本やタブレットにも取り組んだ。 ○操作ができる教材は、子どもが自分から関わるが多かった。人や物との関わりが多いほど、子どもからの表現が増え環境の大切さを改めて感じた。 	
	学習会等を含めた保護者支援	<ul style="list-style-type: none"> ○10月から学習会を開始したため保護者からの要望をふまえて実施した。学級懇談以外にも、懇談の機会も設けた。 ○学習会に参加した保護者からは、よい感想を貰った。 	

	目標(課題)	取組と結果	次年度の課題・改善策
小学部	言語活動の充実とコミュニケーションの拡充	<ul style="list-style-type: none"> ○読書タイム、委員会活動など、学校生活の中で様々なコミュニケーションの場を設定した。自立活動『きこえ』で、児童をグループに分け、主体的に活動できる話し合いの場を設定し、取り組んだ。 ○季節行事や時事ニュース、言葉遊びなどの掲示物を作成し、廊下に掲示した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・共通の話題でコミュニケーションを取る姿が多く見られるようになってきている。児童たちだけではスムーズなやりとりはまだ難しく、授業展開や支援の方法等は検討を続けていきたい。 ・言語環境を整えるための掲示は、自立活動の授業と関連付けたよりよい活用を検討したい。 ・児童一人一人の実態を把握し、キャリア教育の視点からも、社会性を身につけるための取り組みについて検討する。
	日本語文法指導の継続と個に応じた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○日本語文法指導は児童の日本語の力や言語発達に合わせて、指導内容を工夫して取り組んだ。 	
	キャリア教育の理解と推進	<ul style="list-style-type: none"> ○指導計画の作成などを通し、小学部段階でのキャリア教育の視点(生きる力をつける教育)について共通理解を図る。 ○進路については、必要な情報を、必要な家庭に提供する。 	

	目標(課題)	取組と結果	次年度の課題・改善策
中学部	生活力・学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の実態を把握するため、職員全員で生徒一人一人の長所や短所を出し合い、自立活動や生活面での指導につなげた。 ○タブレット端末を映像発表や調べ学習などで使用し、学習効果を上げることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人の実態をしっかりと把握し、それぞれの課題を職員間で情報共有しながら、授業改善に取り組む。 ・個々に応じたコミュニケーション手段で、相手に分かりやすく伝える力、情報をつかむ力をつける。 ・進路指導部との連携を密にし、保護者へ進路に関する適切な情報提供を行うとともに、体験的な学習等を通して自立の力を育てる。
	コミュニケーション能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○1分間スピーチを毎月実施し、スモールステップで表現や発表の仕方を磨いていった。 ○介護体験の大学生や外国人講師との交流の機会をもつ中で、自己紹介や調べ物の発表などをして交流したり、自分の障害を知ってもらうための表現方法などを学習したりした。 	
	生きる力・自立の力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○職場体験学習を2日間体験し、自分の目標をもって主体的に取り組むことができ、貴重な経験を積むことができた。 ○近隣の特別支援学校や中学校との交流学习を実施する中で、集団の中でコミュニケーションをとる力や周りを見て行動する力などに成長が見られた。 	

	目標(課題)	取組と結果	次年度の課題・改善策
高等部	一人一人の進路目標の実現を図るために、個に応じた丁寧な学習指導や指導方法の検討を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○3年生全員、希望する進路先を決定することができた。 ○概ね、個に応じた学習内容を設定し指導方法を改善できたと思われるが、取組や成果が保護者の理解を得られるに至っていない点については検討していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も一人一人の進路目標の実現を図るために、個に応じた学習内容や指導方法を検討し、丁寧に生徒や保護者に説明をする。 ・引き続き、コミュニケーション力の向上のために、高等部全体で取組を行う。次年度は、さらに、場面に応じたコミュニケーション力や折衝力、機器の活用力、情報保障を依頼する力等、実践力を付けるための指導を行う。 ・部活動や各種検定試験の受検、体験的な活動への参加を促す。全豊卓球大会へ向けて、高等部全員で取組を進める。
	卒業後の望ましい対人関係の構築のために、個々のコミュニケーション力を活かす取組を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ○集団を保障する環境を整えるとともに、高等部の共通課題として指導を行った。 ○校外学習や交流会の企画や生徒会活動の活性化などにより、生徒同士の活発なコミュニケーションにつながった。今後も機器の活用や支援を依頼する力の向上を目指すなど、継続して指導していく必要がある。 	
	部活動や生徒会活動、各種検定試験の受検、校外での自主的な活動への参加を促す。	<ul style="list-style-type: none"> ○部活動は、コロナ禍の中、活躍の場が少なかったが、各種検定試験の受検は自主的に行えた。 ○ボランティア活動など校外での自主的な活動もコロナ禍の中、推進することが難しかった。 	



学校評議員会・学校関係者評価委員会から

令和4年2月18日（金）に第2回学校評議員会が開催されました。学校関係者評価委員会も兼ねており、学校評議員に加え、PTA会長・副会長様にご参加をいただきました。



〔各評議員等の方々のご意見やご感想の一部を抜粋してお知らせします。〕

【学部等の重点目標について】

- 「学部等の重点目標」とホームページの学部紹介の「目標」らしきものがリンクしていないように思われる。「学部等の重点目標」とは違うのであれば、タイトルをつけたほうがよいと思う。香川県立聾学校のことを全く知らない人がホームページを見ると、教育関係者であれば、「各学部の目標かな」と思うだろうが、様々な閲覧者を想定した分かりやすさが必要ではないか。

【防災について】

- 避難訓練について、高等部に電光掲示板がない。人工内耳の生徒は放送を聞き取れるが、放送を聞き取れない生徒もいる。避難訓練を周知なしでする場合、地震か火災か発生場所により逃げる経路も違い複雑だと聞いている。高等部にも電光掲示板をつけてほしい。
- 地域の自治体でも、防災は難しい。過去、いつどのように地震が起こったかやその時の様子を知ること、地震を予測することができる。個人的には5～10年度ぐらいではないかと予想している。備えが大事である。聾学校は地震の際は地域や保護者の協力が必須であるので真剣に考えておく必要がある。地域として私も協力していきたい。

【学校評価について】

- 生徒による評価について、高等部は教科ごとに分けて評価している。中学部も教科担当制なので、教科ごとの評価にした方がよいと思う。
- 学校評価について、自己評価でC・Dをつけている教員は自分で成長しなければいけないと自覚できている教員だと思う。そういう教員を増やしてほしいと思う。評価が低い項目についての支援を考えてほしい。
- 全体的に先生方の自己評価が高い印象を受けた。それでいいのかなという印象を受けている。
- 100%を達成したら、次年度は思い切って項目を見直すことも必要ではないか。変えられないもの、変えてはいけないものもあるが、達成できたものは、できていないものに変えていくチャレンジをしてみてもどうか。何のための評価かという議論もあってもよいと思う。

この他にも、貴重なご意見を多数いただきました。学校で改善する必要があるものについては、すでに検討を始めているものもあります。今後も、学校評議員会にてご意見を拝聴し、検討および改善を進めてまいります。

令和3年度学校評価表(幼稚部自己評価)～集計表～

〈教員による評価〉

香川県立聾学校

- 評価基準 A:十分に達成している。全く問題はない。
 B:ほぼ達成している。特に問題はない。
 C:あまり達成していない。問題点を整理する必要がある。
 D:達成していない。改善・工夫が必要である。

回収率 100%

I 幼稚部における全体目標	A	B	C	D	B以上
① 様々な体験や人との関わりを通して、学校生活や遊びを楽しみ、自分の力で頑張ろうとする子どもを育む。(部全体)	5	1	0	0	100%
② 一人一人に応じたコミュニケーションの基礎の力を養い、伝え合うことを楽しむ子どもを育む。(部全体)	4	2	0	0	100%
③ 基本的な生活習慣を養い、健康で明るく生き生きとした子どもを育む。(部全体)	5	1	0	0	100%
II 課題取組に関する目標目標	A	B	C	D	B以上
① やりとりを楽しむような関わり(子どもの気持ちの理解・受け止め・共感)をする。(各個人)	3	3	0	0	100%
② 個々の実態を把握し、それぞれに応じたコミュニケーションの支援を行う。(各個人)	0	6	0	0	100%
③ 子どもが興味をもち、やりとりのきっかけとなるような掲示物等の工夫をする。(各個人)	3	3	0	0	100%
④ 実態に応じた視覚情報を活用し、興味や関心をもてるような保育活動の工夫を図る。(各個人)	3	3	0	0	100%
⑤ 学習会等などを通して保護者支援を図るとともに、必要に応じて懇談の機会を設けるようにする。(部全体)	5	1	0	0	100%
III 学習指導(自立)における全体目標	A	B	C	D	B以上
① 子どもの聞こえ等に配慮するとともに、言語力の向上に努める。(各個人)	3	2	1	0	83%
IV 交流及び連携に関する目標	A	B	C	D	B以上
① 学校間交流や居住地校交流では、交流先と連携し、同年代の幼児と触れ合う楽しさを味わえるようにする。(部全体)	2	4	0	0	100%
② 家庭や関係機関との連携を丁寧に行い、子どもや保護者への支援に役立てる。	4	2	0	0	100%
V 管理、運営面における目標	A	B	C	D	B以上
① 各担当区域の環境整備(設備、防災、衛生、安全面)を適切に行う。(各個人)	2	4	0	0	100%
② 職員間の情報伝達(報告・連絡・相談等)を円滑に行う。(各個人)	5	1	0	0	100%
③ 集金処理や会計処理を適切に行う。(各個人)	6	0	0	0	100%

令和3年度学校評価表（幼稚部 保護者アンケート）～集計表～

〈保護者による 学校教育活動についての評価〉

香川県立豊学校

- 評価基準 A:十分にできている
 B:ほぼできている
 C:あまりできていない
 D:できていない
 ?:わからない

回収率 100%

I 学習活動について	A	B	C	D	?	B以上
① お子様は、先生や友達と一緒に、楽しく学校生活を送ることができましたか。	4	1	0	0	0	100%
② 日々の保育内容や行事は、お子様の興味、関心に合っていましたか。	5	0	0	0	0	100%
③ お子様は、この1年間で、できることが増えていますか。	4	1	0	0	0	100%
④ 教員は、聞こえや発音、お子様に応じたコミュニケーション手段（音声、手話、指文字、身振りサインなど）に関して、配慮していましたか。	5	0	0	0	0	100%
⑤ 懇談や連絡帳などによって、学校でのお子様の様子が適宜伝えられていましたか。	4	1	0	0	0	100%
II その他	A	B	C	D	?	B以上
① お子様に関する相談に適切に応じることができていましたか。	4	1	0	0	0	100%
② 学習会や研修会等で、必要な情報を得ることができましたか。	4	1	0	0	0	100%

令和3年度学校評価表(小学部自己評価)～集計表～

〈教員による評価〉

香川県立聾学校

- 評価基準 A:十分に達成している。全く問題はない。
 B:ほぼ達成している。特に問題はない。
 C:あまり達成していない。問題点を整理する必要がある。
 D:達成していない。改善・工夫が必要である。

回収率 100%

I 小学部における全体目標	A	B	C	D	B以上
① 一人一人の実態を把握して障害の特性に応じた指導上の配慮を行い、学力や社会へ出るために必要な基本的な力の向上を図る。(各個人)	4	6	2	0	83%
② 音声を意識したやり取りや言語活動等を通して、コミュニケーション能力を高める。(部全体)	5	5	2	0	83%
③ 望ましい生活習慣の形成を通して、健康や安全に関心をもとうとする態度を育成する。(部全体)	8	3	1	0	92%
II 教育課程における目標	A	B	C	D	B以上
① 担当した教科等の指導を、個別の指導計画にそって行い、計画通りにすすめる。(各個人)	5	6	1	0	92%
III 学習指導における全体目標	A	B	C	D	B以上
① 授業の始まりと終わりの時刻を守る。(各個人)	2	9	1	0	92%
② 教科指導や自立活動、特別活動等の指導を通し、自ら考え動く力を育む。(部全体)	4	7	1	0	92%
IV 生徒指導における全体目標	A	B	C	D	B以上
① 生徒・学級担任・保護者間での情報共有を図るため、連絡帳の活用・情報の発信・三者間のやりとりを行う。(各個人)	5	7	0	0	100%
V 進路指導における目標	A	B	C	D	B以上
① 総合的な学習の時間や学級活動で「進路」を取り上げ、将来を見据えた学習を実施する。(部全体)	3	8	1	0	92%
VI 管理、運営面における目標	A	B	C	D	B以上
① 各担当区域の環境整備(設備、防災、衛生、安全面)を適切に行う。(各個人)	7	5	0	0	100%
② 各部内での職員間の情報伝達(報告・連絡・相談等)を円滑に行う。(各個人)	4	7	1	0	92%
③ 所属部以外の部へ必要な情報伝達を行う。(各個人)	4	8	0	0	100%
④ 各係として、保護者からの集金処理や業者との会計処理を適切に行う。(各個人)	8	4	0	0	100%

令和3年度学校評価表（小学部 保護者アンケート）～集計表～

〈保護者による 学校教育活動についての評価〉

香川県立豊学校

- 評価基準 A:十分にできている
 B:ほぼできている
 C:あまりできていない
 D:できていない
 ?:わからない

回収率 100%

I 学習指導について	A	B	C	D	?	B以上
① お子様の各学期の目標（生活面・学習面）は、達成できましたか。	2	6	1	0	0	89%
② 教員はお子様の聞こえに配慮し、手指メディア（手話、指文字等）、ICT機器・教材（タブレット端末、パソコン等）、絵カードなどの視覚的な方法を活用した指導ができていましたか。	6	3	0	0	0	100%
③ 学級懇談会や連絡帳、学級通信等によって、学校でのお子様の状況が適切に伝えられていましたか。	7	2	0	0	0	100%
④ 教員は、通知表等において、お子様の能力や努力を適切に評価できていましたか。	7	2	0	0	0	100%
⑤ 教員は、日々の家庭での宿題・課題等を適切に提供して指導できていましたか。	5	4	0	0	0	100%

II その他	A	B	C	D	?	B以上
① 教員から、お子様の悩みや学習面、生活面での困難さ等について、適切なアドバイスがなされてきましたか。	7	2	0	0	0	100%
② 教員から進級や進学について、情報提供や相談が適切におこなわれていますか。	5	4	0	0	0	100%

令和3年度学校評価表(中学部自己評価)～集計表～

〈教員による評価〉

香川県立聾学校

- 評価基準 A:十分に達成している。全く問題はない。
 B:ほぼ達成している。特に問題はない。
 C:あまり達成していない。問題点を整理する必要がある。
 D:達成していない。改善・工夫が必要である。

回収率 100%

I 中学部における全体目標	A	B	C	D	B以上
① 一人一人の実態を把握し、障害の特性等に応じた指導上の配慮をより充実させ、学力、生活力の向上を図る。(各個人)	2	9	0	0	100%
② 個々に応じた言語活動を通して、コミュニケーション能力を高める。(部全体)	3	6	2	0	82%
③ 体験的な学習や交流及び共同学習を通して、自ら考え自ら動く力を育む。(部全体)	3	7	1	0	91%
II 教育課程における目標	A	B	C	D	B以上
① 担当教科等の指導を個別の指導計画に沿って行い、学力等の向上を図る。(各個人)	0	10	1	0	91%
III 学習指導における全体目標	A	B	C	D	B以上
① ICT機器等を活用して、生徒に分かりやすく、それぞれに合った指導方法を工夫改善する。(各個人)	1	9	1	0	91%
② 自立活動や総合的な学習の時間を有効に使い、コミュニケーション能力の向上を図る。(部全体)	4	7	0	0	100%
IV 生徒指導における全体目標	A	B	C	D	B以上
① 生徒・学級担任・保護者間での情報共有を図るため、連絡帳の活用・情報の発信・三者間のやりとりを行う。(各個人)	3	8	0	0	100%
② 生徒自身が障害を正しく理解し、肯定的に捉えられるよう、意識して取り組む。(部全体)	2	8	1	0	91%
V 進路指導における目標	A	B	C	D	B以上
① 総合的な学習の時間や学級活動で「進路」を取り上げ、将来を見据えた学習を実施する。(部全体)	4	6	0	0	100%
VI 管理、運営面における目標	A	B	C	D	B以上
① 各担当区域の環境整備(設備、防災、衛生、安全面)を適切に行う。(各個人)	3	8	0	0	100%
② 各部内での職員間の情報伝達(報告・連絡・相談等)を円滑に行う。(各個人)	0	11	0	0	100%
③ 所属部以外の部へ必要な情報伝達を行う。(各個人)	2	9	0	0	100%
④ 各係として、保護者からの集金処理や業者との会計処理を適切に行う。(各個人)	5	6	0	0	100%

令和4年1月

令和3年度授業評価(中学部生徒) ～集計表～

香川県立聾学校

- ・とてもできている、はいと思う場合は、「◎」と書いてください。
- ・ほぼできている、まあまあと思う場合は、「○」と書いてください。
- ・あまりできていないと思う場合は、「×」と書いてください。

回収率 83%

授業に関する項目	◎	○	×
① 授業は楽しく、安心して受けられる。	4	1	0
② 授業でわからないことについて先生に質問しやすい。	2	3	0
③ 先生は教え方をいろいろと工夫している。	4	1	0
④ 先生は生徒の意見や考え方をよく聞いてくれ、大切(たいせつ)にしてくれる。	3	2	0

自分自身に関する項目	◎	○	×
① 学習の準備や服装を整えて授業の始まりを待っている。	2	3	0
② 授業の内容を理解しようと努力している。	2	3	0
③ 授業中わからないところは質問している。	1	4	0
④ 他の人の発表をよく理解しようと努力している。	2	3	0
⑤ 宿題をきちんとしている。	2	2	1

令和3年度学校評価表（中学部 保護者アンケート）～集計表～

〈保護者による 学校教育活動についての評価〉

香川県立豊学校

- 評価基準
- A:十分にできている
 - B:ほぼできている
 - C:あまりできていない
 - D:できていない
 - ?:わからない

回収率 100%

I 学習指導について	A	B	C	D	?	B以上
① お子様は、生活面学習面において目標を達成できましたか。	2	2	1	1	0	67%
② お子様は、個々に応じた言語活動の指導や交流学习等を通して、コミュニケーション面での成長が感じられましたか。	2	3	0	1	0	83%
③ お子様は、校外学習や職場体験等の体験活動に意欲的に取り組むことができましたか。	3	2	0	1	0	83%
④ 教員は、お子様の実態に配慮して、手話や指文字等を用いたわかりやすい指導ができていますか。	5	0	0	1	0	83%
⑤ 教員は、通知表等でお子様の能力や努力を適正に評価していますか。	5	0	0	1	0	83%
⑥ 学級懇談会や連絡帳等によって学校と家庭との情報交換等を適宜行うことができていますか。	4	1	0	1	0	83%
⑦ お子様の進路について、情報提供や相談が適切に行われていますか。	3	2	0	1	0	83%

令和3年度学校評価表(高等部自己評価)～集計表～

〈教員による評価〉

香川県立聾学校

- 評価基準 A:十分に達成している。全く問題はない。
 B:ほぼ達成している。特に問題はない。
 C:あまり達成していない。問題点を整理する必要がある。
 D:達成していない。改善・工夫が必要である。

回収率 100%

I 高等部における全体目標	A	B	C	D	B以上
① 一人一人に応じた学習内容を設定・展開し、現場実習等校外での活動を充実し、進路目標の実現を図る。(部全体)	3	9	0	0	100%
② 学校生活全般を通して活発なコミュニケーションの場を設け、卒業後の望ましい対人関係の構築を図ることができる姿勢を育成する。(部全体)	8	2	2	0	83%
③ 部活動や各種検定試験による自主的な活動を重視し、生涯学習・スポーツにつながるような意欲・態度を育てる。(部全体)	4	5	3	0	75%
II 学習指導における全体目標	A	B	C	D	B以上
① 担当教科等の指導を個別の指導計画に沿って行い、学力等の向上を図る。(各個人)	6	5	1	0	92%
② 個々の進路希望に応じた学力の向上とそれに対応した具体的な目標及び内容を設定し取り組ませる。(部全体)	3	7	2	0	83%
③ ICT機器等を活用した授業を推進し、生徒が分かる授業を目指したり、生徒へ活用を促したりする。(部全体)	5	5	2	0	83%
III 生徒指導における全体目標	A	B	C	D	B以上
① いじめ等が生じないよう、相手の立場に立ったコミュニケーションができるようになるなど、思いやりのある人間性を育成する。(部全体)	7	4	1	0	92%
② 学校のルールを守り、服装等を整え、規律正しい生活が送れるよう指導する。(部全体)	9	3	0	0	100%
IV 進路指導における目標	A	B	C	D	B以上
① 生徒一人一人の学習意欲を高め、個別の進路に対応する学力を身につけ、進路希望の実現を図る。(部全体)	5	6	1	0	92%
② 課外や補習を効率よく実施し、個々の生徒の能力を伸ばすなど、確かな学力の向上を図る。(部全体)	3	7	1	0	91%
V 管理、運営面における目標	A	B	C	D	B以上
① 各担当区域の環境整備(設備、防災、衛生、安全面)を適切に行う。(各個人)	7	5	0	0	100%

令和3年度授業評価(高等部生徒) まとめ～集計表～

香川県立聾学校

- ・とてもできている、はいと思う場合は、「◎」と書いてください。
- ・ほぼできている、まあまあと思う場合は、「○」と書いてください。
- ・あまりできていないと思う場合は、「×」と書いてください。

授業に関する項目	◎	○	×
① 授業の進む速さはちょうどよい。	17	14	1
② 先生の話し方(手話、指文字等も含む)がはっきりして、言っていることがわかりやすい。	17	14	1
③ 先生は自分や友だちの意見や考え方をよく聴いてくれ、大切にしてくれている。	23	8	1
④ 板書は見やすく、わかりやすい。	16	12	1
⑤ 先生は目で見えてわかりやすい資料やビデオ、コンピュータ等をよく使ってくれる。	19	11	1
⑥ 先生がつけている成績(通知表)は納得できる。	18	8	1
⑦ 宿題の量や内容は自分の成績向上のためになっている。	12	8	1

自分自身に関する項目	◎	○	×
① 教材(服装等含む)を準備して授業の始まりを待っている。	18	14	0
② 私語などをせず、先生の説明を理解しようと努力している。	16	15	1
③ 授業中わからないところは質問している。	17	15	0
④ 他の人の発表を理解しようと努力している。	13	9	0
⑤ 予習・復習や宿題をきちんとしている。	6	10	1

令和3年度学校評価表（高等部 保護者アンケート）～集計表～

〈保護者による 学校教育活動についての評価〉

香川県立豊学校

- 評価基準 A:十分にできている
 B:ほぼできている
 C:あまりできていない
 D:できていない
 ? :わからない

回収率 100%

I 学習指導について	A	B	C	D	?	B以上
① お子様がホームルーム等で立てた、各学期の目標は、達成できたと思いますか。	0	3	1	0	4	38%
② 学校生活全般にわたって、個に応じた指導ができていると思いますか。	3	2	1	1	1	63%
③ 通知表等において、お子様の成果や努力が適正に評価されていましたか。	4	3	1	0	0	88%
④ コミュニケーション面での指導が行われ、対人関係面でお子様の成長が感じられましたか。	2	3	2	1	0	63%
II 部活動について	A	B	C	D	?	B以上
① お子様の目標に応じて、個の能力を十分に発揮できるよう指導されていると思いますか。	4	3	0	1	0	88%
III その他	A	B	C	D	?	B以上
① お子様の学校生活での悩みや相談等について、教職員が適切な対応をしていると思いますか。	1	3	2	2	0	50%
② お子様の進路について、情報提供や個に応じた指導が適切になされていると思いますか。	4	2	2	0	0	75%

令和3年度学校評価表(他分掌評価) ～集計表～

〈教員による評価〉

○評価基準

A:十分に達成している。全く問題はない。

B:ほぼ達成している。特に問題はない。

C:あまり達成していない。問題点を整理する必要がある。

D:達成していない。改善・工夫が必要である。

分掌名	評価項目	A	B	C	D	B以上[%]
教務部	各学部での学習活動が円滑に行えるよう、学部間の行事・時間割変更等について連絡調整を密に行う。	22	20	1	0	98%
研究部	専門性の継承と向上のために必要な研修を、年間を通して計画的かつ効果的に行う。	22	22	2	0	96%
人権・同和教育部	本校の人権・同和教育やささまざまな人権課題についての保護者の理解を促すことを目的として、『響』の内容を充実させる。	27	23	1	0	98%
生徒指導部	児童生徒が主体的に活動し自己有用感が育つよう、各部の実態に応じて児童会生徒会活動を計画実施する。	30	15	2	0	96%
メディア教育	視聴覚機器やタブレット端末等を授業や学校生活の支援、校務等で活用することができるよう、環境を整えたり、管理・点検を徹底したりする。	30	18	0	0	100%
進路指導部	本校の進路に関する情報を発信するため、進路講話や現場実習報告会、進路だよりの内容を充実させる。	28	20	2	0	96%
保健部	幼児児童生徒、教職員の健康的な心身づくりを目指し、感染症予防対策、衛生管理を徹底・継続し、学校給食が安心安全に行われるよう努める。	34	13	0	0	100%
環境管理部	幼児児童生徒が安全安心な学校生活を送るために、発災時の行動を全職員が考えることができるように各避難訓練を計画的に実施する。	26	18	4	1	90%
総務部	各PTA会議の運営方法や生徒の教育活動との連動、保護者や職員の業務内容を見直し、少ない人数でも無理なく取り組めるようなPTA活動を計画する。	27	19	2	0	96%
きこえとことばの相談支援センター	センター的機能についての理解を進めるために、職員会議等で研修会や交流行事の報告を行ったり、各部内で教育相談児童生徒についての情報提供を行ったりして、共通理解を図る。	25	24	0	0	100%
寮務部	(担任) 寄宿舎の活動や舎生の状況について、学校、家庭と連絡を密にとりながら、共通理解を図る。 (担任以外) 寄宿舎での活動や取り組みについて、日報や掲示物を利用して、情報を発信し理解推進を図る。	23	16	0	0	100%